

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 謝 浩然 役職 / official position : 准教授

1. 研究テーマ / Research Theme

本研究室は、「人間中心の AI (Human-Centered AI)」を研究の軸に、人間の知性と AI の知性を融合するインタフェース技術の開拓に取り組んでいます。特に、プロフェッショナルデザイン領域 (アニメ, 建築, ファッション, ロボティクス等) を主要な応用対象とし、生成 AI およびコンピュータグラフィックス技術を基盤とした創造支援の研究を展開しています。

具体的な研究分野は、画像・動画生成, フィジカル AI (Physical AI), スケッチベースインタフェース, 人間 AI インタラクション (Human-AI Interaction) と多岐にわたります。AI 技術の発展そのものだけでなく、その技術が人間の創造性をいかに拡張し、社会にいかに貢献できるかを常に問い続ける研究室です。

2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired

研究室教育は必修 A 科目 (先端) 又は研究支援科目 (融合) の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。

Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.

本研究室では、知識科学および情報科学の両学位プログラムにおいて、博士前期課程・博士後期課程の研究指導を行っています。各学位の特性に応じた研究テーマと研究方針のもと、超スマート社会 (Society 5.0) を牽引する未来価値創造人材の育成を目指します。すべての課程に共通して、以下の能力の修得を重視しています。学問分野を越えた学際的思考力、問題解決のための情報活用能力、そして俯瞰的視点からのイノベーション創出力です。研究室では、異なる専門領域を持つ研究者が互いを尊重しつつ切磋琢磨する環境を整えており、日常的な研究活動を通じて自然と学際的な知見が蓄積されます。

博士前期課程では、サイバー空間とフィジカル空間を融合する人間中心技術の開発に取り組み、生成 AI やフィジカル AI 技術を活用した実践的な問題解決力を養います。博士後期課程では、研究室の重点研究分野において最先端の研究開発を推進し、トップレベルの国際会議・学術誌での成果発信を実現するための研究指導体制および共同研究体制を構築しています。

3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle

本研究室では、人間中心 AI 技術の開拓とその応用に関する研究課題に対し、学生の主体性を尊重しながら、チームワークを通じて研究開発の実践力を鍛えることを目指しています。研究指導は、個人型プロジェクトと共同研究型プロジェクトの二つの柱で構成しています。個人型プロジェクトでは、学生自身が研究課題を設定し、主体的に探究する力を養います。共同研究型プロジェクトでは、国内外の優秀な研究者との学術連携や企業との産学連携を通じて、多様な視点から問題解決に取り組む経験を積みます。これらの活動を通じて、高い研究遂行能力と豊かなコミュニケーション能力の双方を育みます。

また、国際会議での研究発表や国際学術誌への論文投稿の機会を積極的に設け、グローバルな研究コミュニティで活躍できる力を養います。学生が自らの可能性と研究ビジョンを明確にしなが、世界トップレベルの研究成果を発信できるよう支援していきます。博士後期課程・博士前期課程を問わず、すべての学生が「自ら問いを立て、自ら解を探索する」研究者として成長することが、本研究室の指導方針の根幹です。指導教員は答えを与える存在ではなく、問いの質を高める伴走者として、学生一人ひとりの成長に寄り添います。

4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities

日次活動 / Daily Activities :

週次活動 / Weekly Activities :

研究室全体ゼミ (週 1 回, 全員参加), 知識科学博士ゼミ (週 1 回, 知識科学の学位を目指す博士後期課程学生のみ), 情報科学博士ゼミ (週 1 回, 情報科学の学位を目指す博士後期課程学生のみ)

月次活動 / Monthly Activities :

不定期活動 / Occasional Activities :

研究活動: 個別研究打ち合わせ (月 1 回), 国内大学研究者との共同研究会議, 海外大学研究者との共同研究会議, 企業との産学連携研究会議, 学内共同研究会議, 研究室共同研究会議, 共同研究プロジェクトの成果発表会

対外活動: 国内外研究者による招待講演, 国内研究会での研究発表, 国際会議での研究発表, 国内外の研究機関との共同ゼミ, インターンシップ, 研究倫理講習の受講

5. 年間スケジュール / Annual Schedule

本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。(本学HP 参照: ホーム>教育>履修関係>履修案内)

Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home>Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)

本研究室では, 以下の研究室独自のアカデミックイベントを通年で実施しています.

- ・ SIGGRAPH 等の最高峰国際会議に採択された論文の輪読会を定期的開催
- ・ M1・D1 の学生を対象とした研究プロジェクトを設け, 実践的な研究スキルを修得
- ・ 生成 AI の最新技術に関する勉強会を実施